

令和8年度 教育課程研究集会 (中学校・国語)

令和8年7月28日(火) 13:00～16:00
徳島県立総合教育センター 2階 大研修室

本日の日程

13:00～13:30 受付

13:30～13:40 開会・日程説明

13:40～14:50 部会Ⅰ講演

文部科学省教育課程課教育課程企画室長 栗山 和大 氏

14:50～15:00 休憩

15:00～15:45 部会Ⅱ

生成AIを活用した授業実践についての共有・グループ協議等

15:45～15:55 まとめ・リフレクション

15:55～16:00 事務連絡・閉会

部会Ⅰ 講演

演題 次期学習指導要領に向けた検討状況
～見通しを持ち、明日の教育改善にもつなげるために～

文部科学省
教育課程課教育課程企画室長

栗山 和大 氏

部会Ⅱ日程

15:00～16:00 部 会 Ⅱ

15:00～15:02 進 行 説 明

15:02～15:17 生成A I を利活用した授業実践例の説明

15:17～15:22 質 疑 ・ 応 答

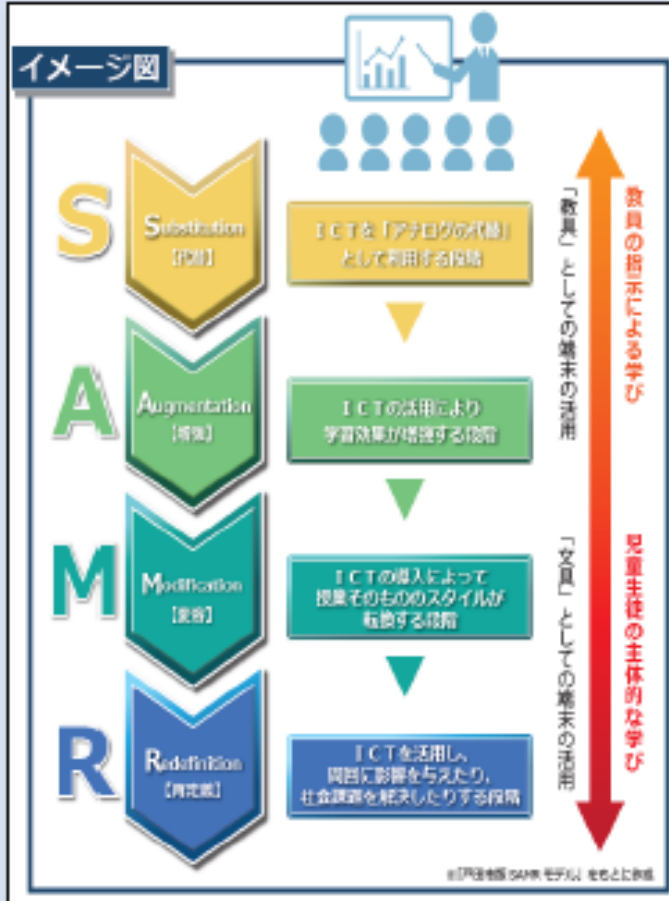
15:22～15:45 生成A I を利活用した授業実践についての
共有・グループ協議

15:45～15:55 まとめ・リフレクション

15:55～16:00 事務連絡 閉 会

①「徳島ICT活用モデル」 (セイマー SAMR)

徳島県の教育DXによる学び・指導の変革、1人1台端末の日常的・効果的な活用の推進のために策定。ICTが授業に影響を与える段階を、S・A・M・Rで示している。



M段階の事例創出のポイント

- ① ICTを活用した児童生徒の主体的な学びとなっている。(学習者である子供自身が学習を主体的に調整できる授業づくり)
- ② デジタル学習基盤により、従来のマンパワーではできなかった学びが実現している。
収集・創造・判断・発信・表現・伝達・処理等の場面×すぐに・いつでも・どこでも・個に
応じて・大量に・誰とでも・何度でも等

M段階の実践に取り組む際の留意点

- ① 授業の目的は、各教科等の目標達成である。(ICTは学習効果を高める手段)
- ② 一斉授業や知識伝達型を否定するものではない。(多様な学習形態を組み合わせる)
- ③ 1時間の授業の中で、少しずつM段階の取組を。(単線型と複線型を混在させて)
- ④ 「児童生徒の主体的な学び＝教師の放任」ではない。(より個に応じた指導となるため、これまで以上の丁寧な見取りや支援等、教師の授業力が求められている。)

SAMR (セイマー) モデルのM段階

ICTの導入によって
授業そのものの
スタイルが転換する
段階



<https://gigaschool.tokushima-ec.ed.jp/>
サイバーGIGA学校「徳島ICT活用モデル」

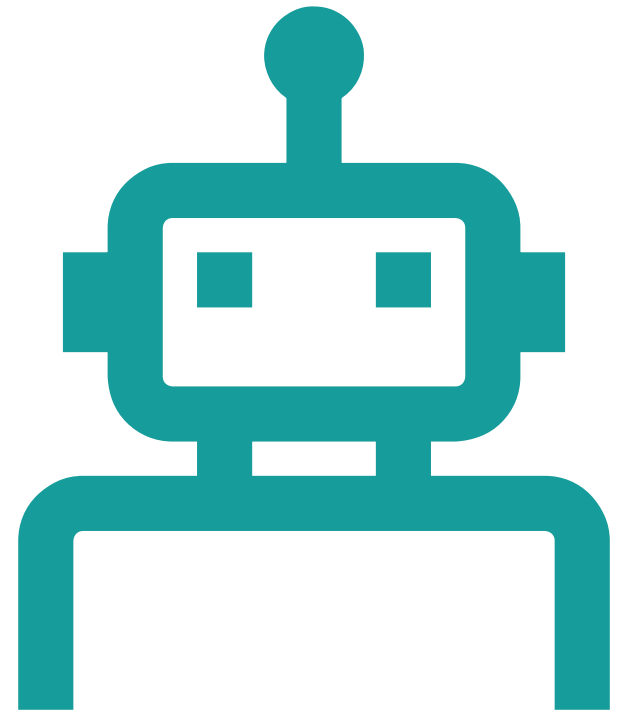
生成A I を利活用した授業実践例の説明 15:02~15:17

『ヒューマノイド』

伊坂幸太郎・著
光村図書「国語2」

1. 単元の目標

伏線とその回収から物語の構造を理解する中で、本文の叙述をもとに、作品のテーマについて、自分なりの解釈をもつ。

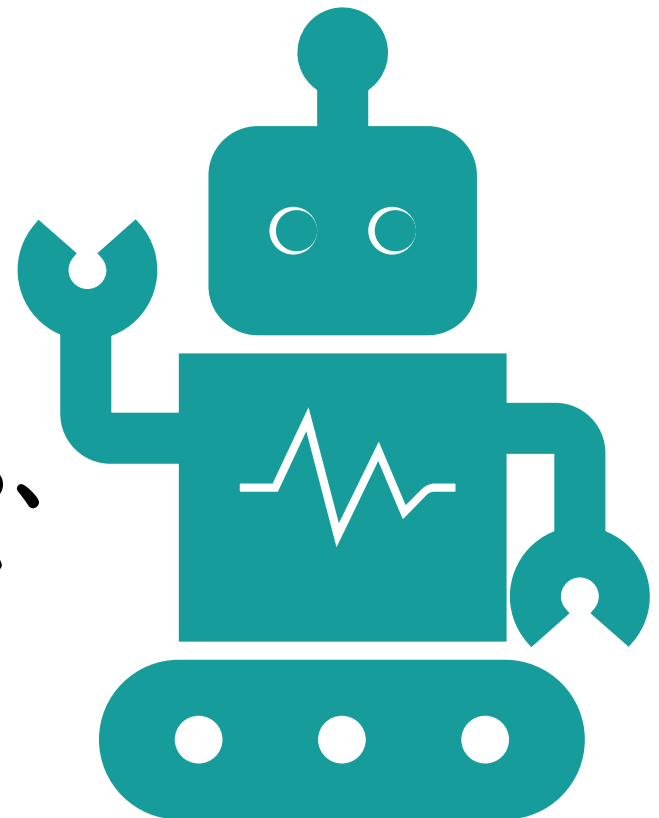
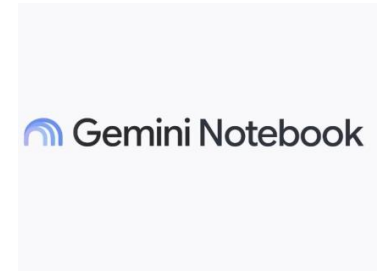


2. 生成AIの利活用の意図

生成AI(Gemini Notebook / Gemini)を「思考の足場」として利活用し、生徒が 作品の構造を読み解き、テーマに迫るための思考の補助として利活用する。

3. 生成AI利活用の基本方針

教師がプロンプトの型を示す「モデリング」から、生徒が自ら問いを立てる「自律」へと、3時間をかけて段階的に足場を外していく。



4. 授業をはじめる前に……

生成AI(Gemini Notebook / Gemini)に本文を読み込ませます。

The screenshot displays the Gemini Notebook application interface. The top navigation bar includes a logo, the title '『ヒューマノイド』 伊坂幸太郎', and buttons for '+ ノートブックを作成', 'アナリティクス', '共有', '設定', 'PRO', and a user profile '雄紀'. The main interface is divided into three panels: 'ソース' (Sources), 'チャット' (Chat), and 'Studio'.

In the 'ソース' panel, there is a section for adding sources. A red arrow points to a search bar labeled 'ウェブで新しいソースを検索'. Below the search bar, a list of sources is shown. One source, '機密性 2 | ヒューマノイ...', is highlighted with a red rectangular box. This source has a PDF icon and a checkmark in the selection column.

The 'チャット' panel shows the title '『ヒューマノイド』 伊坂幸太郎' and '1件のソース・2026/07/12'. Below this, there is a text input area with the placeholder '入力を開始します...' and a button to '1個のソース'.

The 'Studio' panel on the right contains various tool icons for analysis, such as '音声解説', '動画解説', 'レポート', 'クイズ', 'スライド...', 'マインド...', 'フラッシュ...', and 'インフォ...'. At the bottom of the Studio panel, there is a button 'メモを追加' and a note 'スタジオの出力はここに保存されます。'.

At the very bottom of the screen, a small disclaimer reads: 'NotebookLM は不正確な場合があります。回答は再確認してください。'

★教科書教材の生成 A I への活用について

（著作権への配慮事項）

- ①授業内で、教科書本文をPDF化して生徒に配付することは原則としてSARTRAS (<https://sartras.or.jp/>) に登録していれば可能です。（各学校登録済み）
ただし、著作権法第35条の範囲で御利用ください。
（例えば、今回のように『ヒューマノイド』本文テキストのみを取り込み、利用することは可能です。しかし、教科書全ページまたは大半を取り込み利用することは御遠慮ください。）
- ②入力したデータをAIモデルの学習に使用させないよう、オプトアウト設定にして御利用ください。
- ③教師間での資料共有は御遠慮ください。

（光村図書 知財管理課からの回答をもとに作成しています）

Geminiのオプトアウトの設定

アクティビティをクリック

雄紀さん、今の気分はどうですか？

+ Gemini に相談

Pro



🕒 アクティビティ

📱 アプリ連携

🕒 予約アクション

📁 Gem

☀️ テーマ

📖 NotebookLM

● 日本、徳島県徳島市八万町

IP アドレスを使用

位置情報を更新



雄紀

仕事



Gemini アプリ アクティビティ



Gemini アプリ アクティビティの仕組み

[よくある質問を表示しない ▲](#)

Gemini では私のデータはどのように扱われますか？ ▼

Gemini でのチャット アクティビティの確認と管理はどこでできますか？ ▼

誰がデータを管理できますか？ ▼



チャットを保存しています。このアクティビティの設定を変更できるのは管理者のみです。

アクティビティの保存

[Gemini アプリ アクティビティ] がオンであるかオフであるかにかかわらず、チャットは最長で 72 時間アカウントに保存されます。Google はこのデータを使用して、サービスの提供、安全性とセキュリティの維持、ユーザーから提供されたフィードバックの処理を行います。

✓ オン ▼



Google はユーザーのプライバシーとセキュリティを保護します。

[マイ アクティビティの認証を管理](#)

今日

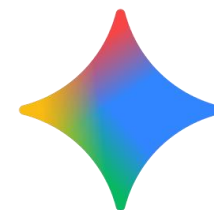


一部のアクティビティがまだ表示されていない可能性があります



Gemini アプリ

オフにする



Gemini Notebookのオプトアウト設定は不要



Googleの公式ポリシーとして、Gemini Notebookにアップロードしたドキュメント（ソース）やチャットのやり取りは、GoogleのAIモデルのトレーニング（学習）には一切使用されない設計になっています。

個人アカウントであっても、デフォルトでデータが保護されているため、設定画面から「学習をオフにする」といった操作は不要です。

自身のデータは、自身のワークスペース内でのみ機能します。

5. 3時間の単元計画:「ヒューマノイド」AI活用授業

【第1時】 事実の抽出とファクトチェック
(使用するAI: Gemini Notebook)

AIで事実を抽出

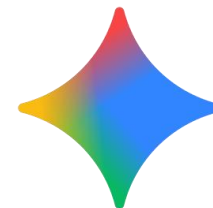
本文へ回帰 (ペア活動でのファクトチェック)

 Gemini Notebook

【第2時】 伏線の構造化と解釈の深化
(使用するAI: Gemini Notebook/Gemini)
作品構造化の可視化、生成AIでの表作成
思考の壁打ち、生成AIとの対話

 Gemini Notebook

【第3時】 自己表現とAIによる推敲
(使用するAI: Gemini)
自力で鑑賞文を執筆
AIを編集者に推敲する



6. 授業の実際（全3時間構成）

1 時間目

本文を読み、記憶のトリガーとなった
キーワードを抜き出し、**AI(Gemini
Notebook)**を使用して、まとめる。



1 本文を読む

2 活動の説明(教師)

主人公が『恥かいちゃった』という先輩の言葉から過去を思い出したことを確認する。

なぜ、記憶がよみがえったのか理由を本文から確認する。

本文の内容を正確に拾うために、**Gemini Notebook**を利用する。

3 プロンプト (Notebook) の入力 (教師が作成・提示)

本文の中で「恥」という言葉、または「恥をかいている状況」は、過去（中学時代）と現在（三十歳）でそれぞれどのように描かれていますか。本文の事実のみを箇条書きで抜き出してください。推測は入れないでください。



『ヒューマノイド』伊坂幸太郎

+ ノートブックを作成

アナリティクス

共有

設定

PRO



雄紀

プロンプトを「Gemini Notebook」に入力

+ ソースを追加

ウェブで新しいソースを検索



すべて選択



機密性 2 | ヒューマノイ...



カスタマイズ

『ヒューマノイド』伊坂幸太郎

1 件のソース・2026/07/12

本文の中で「恥」という言葉、または「恥をかいて
いる状況」は、過去（中学時代）と現在（三十歳）
でそれぞれどのように描かれていますか。本文の事
実のみを箇条書きで抜き出してください。推測は入
れないでください。

1 個のソース



Studio

音声解説



スライド...



動画解説



マインド...



レポート



フラッシュ...



クイズ



インフォ...



Data Table



メモを追加

スタジオの出力はここに保存されます。

「Gemini Notebook」の回答

The screenshot displays the Gemini Notebook application interface. At the top, the title is 『ヒューマノイド』 伊坂幸太郎. Navigation buttons include '+ ノートブックを作成', 'アナリティクス', '共有', '設定', 'PRO', and a user profile '雄紀'. The main area is divided into three sections: 'ソース' (Sources), 'チャット' (Chat), and 'Studio'.

ソース (Sources): Contains a '+ ソースを追加' button, a search bar 'ウェブで新しいソースを検索', and a list of sources. One source is visible: '機密性 2 | ヒューマノイ...' with a PDF icon and a checkmark.

チャット (Chat): Shows a conversation with a user message 'い。推測は入れないでください。' and an assistant response '過去 (中学時代)'. Below the response is a large empty text box for input. At the bottom of the chat area is a button '入力を開始します...' and a status '1個のソース'.

Studio: A sidebar on the right with various tool icons: '音声解説', 'スライド...', '動画解説', 'マインド...', 'レポート', 'フラッシュ...', 'クイズ', 'インフォ...', and 'Data Table'. At the bottom is a button 'メモを追加' and a note 'スタジオの出力はここに保存されます。'.

A red arrow points from the title '「Gemini Notebook」の回答' to the chat history entry '過去 (中学時代)'.

4 事実の照合(生成AIの出力を疑い、本文に回帰する)

(徳島版読解力I「正確に読む力」)

生成AIが出力した箇条書きのリストを生徒と共有し、それが本当に本文に書かれているかを確認（ファクトチェック）する。

生成AIの回答が、教科書の何ページの何行目に書かれているか、ペアで探して、教科書に線を引く。該当箇所 例:「人間は、恥ずかしいと思うようにできていますから。」等の叙述を探し、線を引く。

【ねらい/効果】

- ① 「批判的に読む」姿勢を育てる。
- ② 読むのが苦手な生徒には、生成AIの回答が「探し物(検索)のヒント」となるため、自力で本文にたどり着く成功体験を得やすくなる。



5 意味の関連付け(徳島版読解力3「比較・関連付けて理解する力」)

抜き出した「過去の事実」と「現在の事実」が、主人公の中でどのようにリンクしたのかを考える。

現在（三十歳）の会議室で先輩が「恥かいちゃった」とつぶやいた瞬間、なぜ主人公は、過去（中学時代）のタクジの言葉を思い出したのか。主人公の頭の中で、何がどうつながったのか、自分の言葉でまとめてみる。（手書き、又はタブレット端末上のワークシート）

6 グループで話し合う(徳島版読解力5「発信する力」)

「恥」という共通のキーワードによって、過去のタクジの「恥ずかしさ=人間の機能」という独特の考え方がフラッシュバックしたことを、グループで話し合い、言語化する。



7 新たな「問い」を予告し、次時につなげる

「伏線と回収の構造化」に向けて、生徒の興味を惹きつけ、新たなキーワード（「機能」「転ぶ」）への意識を向けさせる。

『恥』という言葉で過去と現在がつながっていることを確認する。

タクジが語っていた『人間の機能』や『ロボットの特徴』は、これ以外にもいくつかあることを共有する。それらはすべて、現在のロボット発表会で『ある形』になって表れていることを告げる。

タクジは、どんなロボットを作ると約束したのか。次時は、その約束（伏線）がどうなったか、表を使って謎解きをすることを告げる。



2 時間目

作品の核となる「伏線と回収の構造」を読み解き、主人公の心情や主題に迫る。

前半で **GeminiNotebook** を利用して「客観的な構造のずれ」に気付き、後半で **Gemini** と対話しながら「自分の解釈」を深める。



I 活動の説明(教師)

「過去の美術室」での出来事と「現在のドーム会場」での出来事は、実はそっくりな形で繰り返されていることを伝える。

両者を比較する表を **Gemini Notebook** で作りタクジの考えの変化を捉えてみるよう指示する。

どんな『観点』で比べれば、タクジの考えの変化がはっきりするか、観点を4つ考えて、入力する。

生徒自身がプロンプト
(観点) を考え入力する



2 プロンプトの入力(Gemini Notebook)(生徒が作成)

(徳島版読解力2「必要な情報を取り出す力」)

プロンプトの例(Gemini Notebookに入力)

過去の美術室の出来事と現在のドーム会場での出来事を比較する表を作ります。観点を4つ設定します。

- 1 「起こった出来事」
- 2 「周囲の反応」
- 3 「タクジの言動」
- 4 「僕の反応」

観 点	過去の美術室の出来事	現在のドーム会場での出来事
1. 起こった出来事		
2. 周囲の反応		
3. タクジの言動		

4. 僕の反応



「Gemini Notebook」が提示した表

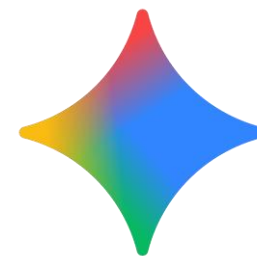
 Gemini Notebook

【ねらい】

出力された表を見比べさせ、「転ばないロボット」から「転んでも起き上がるロボット」に変わっているという決定的な事実(ずれ)に気付かせる。

3 Gemini を「壁打ち相手」にして自分の考えを深める (徳島版読解力5「発信する力」)

- ① なぜタクジは「転ばない」から「起き上がる」に考えを変えたのか。
- ② 過去のタクジの発言と、出来上がったロボットには、他にも重大な違いがあることを指摘し、それが何か、また、タクジはなぜそういうロボットにしたのか、自分の考えをワークシートに書き、それを **Gemini** にぶつけてみる。



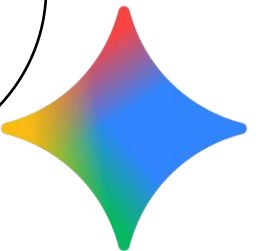
プロンプトの例(Geminiに生徒が入力)

②より

タクジは昔、ヒューマノイドロボットを作るなら人間の恥ずかしい気持ちを理解するロボットを作るといっていたが、実際に出来上がったロボットに僕は恥ずかしい思いをさせられる。

これはロボットが勝手に動いたのではなくて、タクジが操作してそうさせていると私は考える。

タクジの無邪気ないたずら、親愛の証ではないかと思うが、どう考えるか？



Geminiとの壁打ちには
「ガイド付き学習」を
使用する。

タクジは昔、ヒューマノイドロボットを作るなら人間の恥
ずかし
い気持ちを理解するロボットを作るといっていたが、実際
に出来上がった
ロボットに僕は恥ずかしい思いをさせられる。これはロボ
ットが勝手に動

はなくてタクジが操作してそうさせていると私は
タクジ
ないたずら、親愛の証ではないかと思うが、どう
？

☒ Deep Research

☒ ガイド付き学習

3

2

1

4 プロンプトを入力

徳島県庁のチャットはモデルのトレーニングには使用されません。Gemini は AI であり、間違えることがあります。[プライバシーと Gemini](#)



○「ガイド付き学習」を使用した場合のGeminiの回答（その1）

タクジがロボットを操作して「僕」に恥ずかしい思いをさせたのは、無邪気ないたずらや親愛の証ではないか、という解釈ですね。

この物語の結末におけるタクジの意図について、質問を交えながら一緒に探っていきましょう。

物語の中で、タクジは中学生の頃、「失敗を繰り返さないため」の機能として恥ずかしさについて言及し、自分がロボットを作るなら人間の恥ずかしい気持ちを理解できるようにすると宣言していました。

しかし再会の場面では、ロボットが「僕」を指さし、大勢の注目を集めることで、まさに「僕」がかつて授業で味わったような強烈な恥ずかしさを再現させています。

タクジの開発したロボットは、かつての彼の言葉とは裏腹に、「僕」の気持ちを分かっているような行動をとりました。

どの視点からさらに深掘りしていくか、以下の3つの選択肢から選んでみてください。



○「ガイド付き学習」を使用した場合のGeminiの回答（その2）

タクジの「いたずら心」と友情

中学時代のタクジがわざと転んだわけではなかったことやイベントでの無邪気な呼びかけから、今回の行動に込められたタクジの真意を探ります。

「恥」の機能と過去の清算

タクジが過去に語った「失敗を繰り返さないための機能」という考え方と、「僕」が長年抱えていた後悔の念がどう結びつくのかを考察します。

AI機能の可能性

イベントで説明されていた「AI機能により、相手に合わせて反応も変えられます」という設定に基づき、ロボット自身が自律的に状況を判断した可能性について考えます。

どれから進めていきましょうか？



4 Geminiの視点を踏まえ、グループ対話をする (徳島版読解力5「発信する力」)

Gemini からもらった意見をグループで共有する。
生成AIのどの意見に一番納得したか。

そして、その意見の証拠となる叙述は、教科書のどこにあるか。

等を話し合う。



Geminiによる作画

5 本時の振り返りをする

生成AIや友達との対話を通して、自分の考えがどう変わったか、どう深まったか。ワークシートに振り返りを書く。

(手書き、又はタブレット端末上のワークシート)

次回は、深まった考えをもとに、鑑賞文を書くことを予告する。



3 時間目

単元のゴールである「自分の考えの文章化（鑑賞文等の執筆）」を行う。

基本的には生成AIを使用せず自力で執筆に取り組む。ただし、最終段階の「推敲」においてのみ、希望する生徒が **Gemini** を「編集者・アドバイザー」として活用することを認める。



Geminiによる作画

I 活動の説明(教師)

前時までのワークシート、生成AIの意見、友達の意見、本文の根拠を見返し、自分が最も書きたいテーマを一つに絞り、鑑賞文の構成を練るよう伝える。

○テーマ例

「失敗との向き合い方」

「人間のきずな」

「タクジの成長」など。



2 鑑賞文の構成をメモする

(徳島版読解力2「必要な情報を取り出す力」)

これまでの学習で、タクジの考えの変化や主人公の気持ちについて、生成AIや友達からもらった気付きを踏まえて、最終的に自分がこの作品から何を受け取ったか、一番伝えたいことを決め、文章の組み立て（序論・本論・結論）をメモする。
(手書き又は端末上のワークシート)



Geminiによる作画

3 鑑賞文を執筆する

(徳島版読解力5「発信する力」)

自分自身の力で文章を書き上げる。

AIが作ったきれいな言葉ではなく「自分の言葉」で書かれていることが大切であることを伝える。

本文の言葉を引用して根拠を示しながら書く。



Geminiによる作画

4 Gemini を「編集者」として推敲する

(徳島版読解力4「見直す力」)

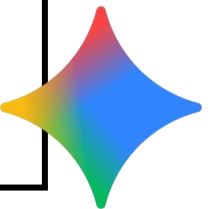
文章を書き終えた生徒、または行き詰まった生徒から、自分の文章を客観的に見直すために Gemini を活用する。

※書き直し・リライトは厳禁とする。

プロンプトの例(教師が入力)

以下の私の文章について、読者に説得力を持って伝えるか、「論理の飛躍」と「本文の引用の適切さ」の2点からアドバイスをしてください。

文章の書き直し(リライト)は絶対にしないでください。改善するためのヒントだけを箇条書きで教えてください。【以下自分の文章を貼り付ける】

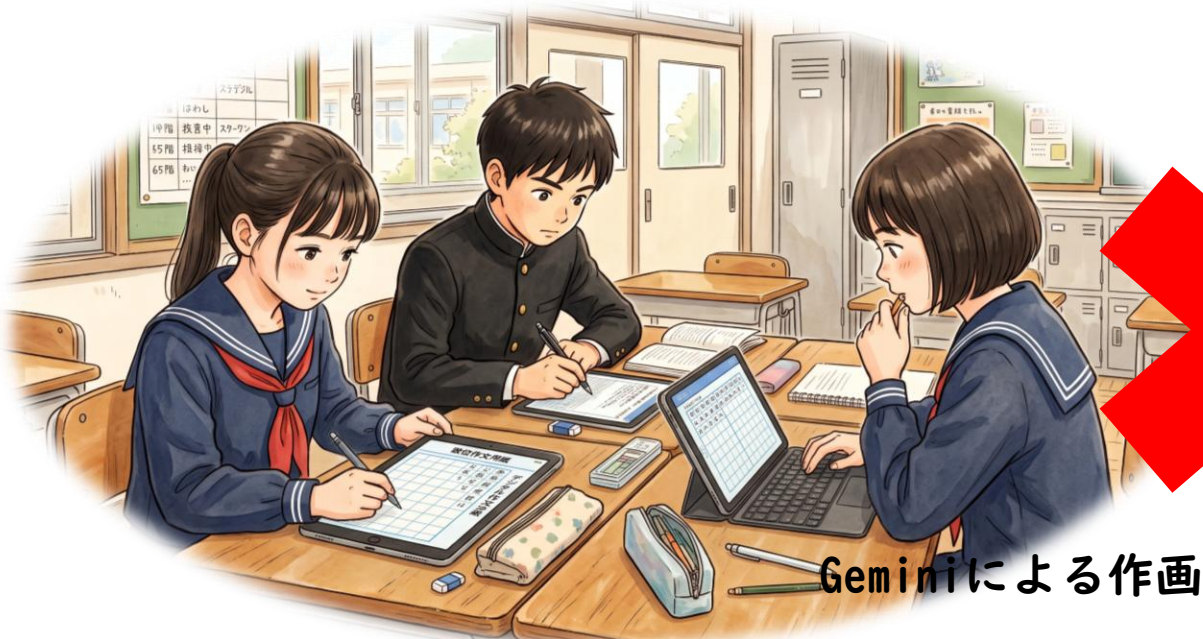


5 相互鑑賞と単元の振り返り

完成した文章をグループで読み合い、本単元の学びを振り返る。

Gemini Notebook で事実を確かめ、**Gemini** と壁打ちをして考えを深めてきたこと、最初の自分の考えと比べて、文章がどう変わったか。AI という道具を使ってみて、自分の「読む力」や「考える力」にどんな発見があったか等を振り返る。





一人一台端末や生成A Iの使用



教科書やノートも使用

新たな学びの第一歩
ハイブリッド型の授業形態

部会Ⅱ日程

15:00～16:00 部 会 Ⅱ

15:00～15:02 進 行 説 明

15:02～15:17 生成A I を利活用した授業実践例の説明

15:17～15:22 質 疑 ・ 応 答

15:22～15:50 生成A I を利活用した授業実践についての
共有・グループ協議

15:50～15:55 ま と め ・ リ フ レ ク シ ョ ン

15:55～16:00 事務連絡 閉 会

●生成 A I を利活用した授業実践についての 共有・グループ協議（15:22～15:45）

1. 各自で持ち寄った生成 A I を利活用した授業実践の
具体例について
2. 実践における成果と課題、または自校における推進
上の工夫と、現在直面している課題等について

●共有・グループ協議の進め方

各グループで

①進行 ②書記 ③発表者 を決めてください。

1. 2. についてグループで御協議ください。

協議内容を②書記の方は、添付のスプレッドシートに御記入ください。

③発表者の方は、後ほど全体共有の場で、2分程度協議内容を御紹介ください。

●生成 A I を利活用した授業実践についての 共有・グループ協議（15:22～15:45）

1. 各自で持ち寄った生成 A I を利活用した授業実践の
具体例について
2. 実践における成果と課題、または自校における推進
上の工夫と、現在直面している課題等について

部会Ⅱ日程

15:00～16:00

部 会 Ⅱ

15:00～15:02

進 行 説 明

15:02～15:17

生成A I を利活用した授業実践例の説明

15:17～15:22

質 疑 ・ 応 答

15:22～15:45

生成A I を利活用した授業実践についての
共有・グループ協議

15:45～15:55

まとめ・リフレクション

15:55～16:00

事務連絡 閉 会

部会Ⅱ日程

15:00～16:00

部 会 Ⅱ

15:00～15:02

進 行 説 明

15:02～15:17

生成A I を利活用した授業実践例の説明

15:17～15:22

質 疑 ・ 応 答

15:22～15:50

生成A I を利活用した授業実践についての
共有・グループ協議

15:50～15:55

まとめ・リフレクション

15:55～16:00

事務連絡 閉 会

●受講者アンケートについて

○回答期間 本日から令和8年8月4日（火）まで

○回答先 Plant（教育課程研究集会のページ）
※お申込みをしていただいたページです。

○留意事項

- ・ 回答期限の厳守をお願いいたします。
- ・ 活用場面については、複数の例を挙げても構いません。
- ・ 回答内容は別途記録しておく、御自身の学びの振り返りに役立ちます。

なお、研修終了後も、Plantの該当研修のページから回答内容を確認することができます。